

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 3 番 氏名 大 谷 学

答弁を求める者
(○をつける)

☐市長 ☐教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1. 持続可能な財政について

(1) 浜田における6年ぶり路線価の下落について

- ① 令和7年7月2日の新聞報道にあった浜田税務署管内の最高路線価が、5年間続いていた横ばいから1.3%下落に転じ、1㎡あたり7万7000円になったとの状況に対して、どのように受け止めているか、その認識を伺う。

(2) 固定資産税の収入額への影響について

- ① 路線価は公示地価を基準に設定されているようだが、仮に公示地価が平均2%減少することとなったとき、税収の減少額は市全体でどの程度の額になると試算されるか、その認識を伺う。
- ② 自主財源である固定資産税収入等を安定的に維持するためには、民間投資を促すような適切な公共投資を行う必要があると考えるが、その認識を伺う。

2. 幼・小学校における主体的な教育環境の構築について

(1) 「子どもの声でつくる授業という授業改善プラン」の成果と課題について

令和7年3月定例会議における個人一般質問において、小学校では令和2年から、中学校では令和3年から全面実施となっている新しい学習指導要領の遂行に向けた支援状況について伺った。

新しい学習指導要領は「学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性等の涵養」「生きて働く知識・技能の習得」「未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の養成」を目標として総則に規定され、指導に当たっては、「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業改善を進め子供たちの力をバランスよく育むことを求めている。

その際の『『主体的・対話的な学び』についてどのような支援をしているのか』の質問に対し、「令和3年に教育委員会で『子どもの声でつくる授業という授業改善プラン』を作成し、各校で推進する体制を整えている」との回答があった。

- ① このプランを活用した「子どもの声でつくる授業」の各小学校での具体的な実施回数を伺う。
- ② どのような子どもの声によって実施されたのかについて具体的な授業の実施内容を伺う。
- ③ 成果をどのように受け止めているか、その認識を伺う
- ④ 今後に向けての課題をどのように受け止めているか、その認識を伺う。

(2) 保育園・幼稚園と小学校との連携体制について

- ① 共通の教育目標等の実現に向け連絡協議会のような体制はどのようなになっているか、その現状を伺う。

② 今後の方向性についてその認識を伺う。

3. 学校における安全管理と体制整備について

(1) 雷に対する安全対策について

- ① 雷探知機の各学校の整備状況を伺う。
- ② 対策に向けた講習会等の実施状況を伺う。